

第1回 中札内村景観まちづくり委員会 会議録

日 時 令和3年11月5日（金） 18:30～20:20
場 所 役場庁舎 会議室2
出席委員 金澤和彦、下埜智加、片山祐二、中田洋介、歌野裕美（子同席）、保坂裕子、
飯沼かおり
欠席委員 嶋崎陽介
アドバイザー 斉藤浩二
事務局 総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二、総務課主事 小関梨菜

議 事

開 会 18:30

（渡辺補佐）嶋崎さんから欠席の連絡を受けています。お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。まず、事務局を私から順に紹介します。（一人ひとり挨拶）
それでは、委嘱状を一人ひとり交付いたしますのでお受け取りください。

－ 委嘱状 交付 －

（渡辺補佐）本日から2年間よろしくお願いします。開会に当たり森田村長よりご挨拶いたします。

（森田村長）委嘱状を交付させていただきました。繁忙期の中お集まりいただきありがとうございます。飯沼さんが新任という事で新たな視点でご意見いただけたらと思います。
美しい村だからこそ指摘を受けることも増え、少しずつ村内に美しい村の意識が浸透していると実感しているところです。皆さんの長年にわたる熱い思いも受けて止めております。改めて2年間よろしくお願いいたします。

（渡辺補佐）飯沼さんは新しくなられたので、簡単に自己紹介をお願いします。

－ 委員・自己紹介 －

（渡辺補佐）本日の議案に移ります。次第4について説明いたします。

－ 竹村主査 資料1に基づいて説明 －

（渡辺補佐）概要について説明させていただきました。意見等なければ次第5の景観アドバイザーについて資料2に基づき説明いたします。

－ 竹村主査 資料２に基づいて紹介 －

－ 斉藤アドバイザー 自己紹介 －

（斉藤先生）アドバイザーとしてご依頼を受け嬉しく思っています。説明のあったイメージアップ推進委員会でピータン等を推進するため道の派遣制度を活用するかたちで来村したことがあります。実はそれより以前にゴルフ場の開設をめぐる議論があり、その際に来村した経過があります。当時は、観光をどうしていくかが課題であり、園地と一本山の建築士と交流があった私に声がかかったことがきっかけです。最近は交通事故やコロナ等があり皆さんとお会いするのは１年ぶりとなります。今後も美しいまちづくりに関わっていければと思いますので、よろしくお願いします。

（渡辺補佐）次第の６について説明します。

－ 竹村主査 資料３に基づいて説明 －

（渡辺補佐）皆さんからご質問等はございますか。

（斉藤先生）ずっと残したい中札内の風景２０２１は何時から実施したのでしょうか。

（竹村主査）インスタグラムは、今年の冬に１回実施しており、今回２回目です。それより以前は平成２６年頃からスタートしています。

（委員）何月まで実施しましたか。

（竹村主査）６～８月まで３ヵ月実施しました。長期での実施という案もありましたが、事務局での整理が負担になることから区切って実施しています。

（斉藤先生）平成２６年からならすごい数になりますね。

（竹村主査）今年インスタグラムをはじめ数が伸びました。１３０件ほど。それ以前は２０件ほどでした。

（斉藤先生）それでも全体だと３００くらいにはなりますね。整理が大変だとは思いますが、ある程度整理してまとめることが必要だと感じています。現在、ジャンルとして４つに分けていますが、投稿者の全体の傾向がざっくりとでも分かると良いと思います。

（委員）農村の景観投稿が多く、村はそれが良いところでしょう。しかし市街地の景観が少ないのが課題であります。ジャンルは歴史とか、どういう分類にするかは今後の委員会で考えたら良いかと思っています。

(委員) 写真にメッセージを添付してもらったかどうかと思います。その人にとってどういう気持ちで残したいのか、募集要項に載せてはどうでしょうか。

(竹村主査) 当初は、作品数を集めることが目的だったので、なるべく投稿のハードルを下げたかったところです。ある程度数は揃ってきたので、今後はコメントも記入してもらような方法も考えたいと思います。

(委員) 牧草地に入るなという広報折込みがあったと思います。写真を撮る人向けのメッセージでしょうか。

(委員) 日高山脈のPRで産業課が先手をうったのかもしれません。農家さんから一報が役場に入ったのかなと思っていました。

(委員) 日高山脈の関係なら、大規模草地や上札内、南札内周辺かと思っていました。

(渡辺補佐) 他に無いようですので、次第7の協議事項の①「会長・副会長の互選について」に進みます。みなさんからの推薦等がなければ、担当から(案)を申し上げます。

ー 協議の結果、会長を金澤和彦さん、副会長を歌野裕美さんに決定 ー

(渡辺補佐) それでは、会長・副会長に就任されたお二人からご挨拶をいただきたいと思います。

(会長) 景観を更に磨き上げていくことが生きがいになっているので奪われたら生きがいがなくなると感じています。美しい景観づくりは生きていくうえでやりがいを感じますし、嬉しく思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

(副会長) 微力ながら金澤会長のご指導のもと頑張りますのでよろしくお願いいたします。

(渡辺補佐) それでは、この後の議事進行につきましては、金澤会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(会長) それでは、次第の協議事項②「今年度の進め方(案)」について事務局より説明をお願いします。

ー 竹村主査 資料4について説明 ー

(会長) 今、事務局から今年度の進め方について提案がありました。みなさんは今の提案についてどう感じられたでしょうか。一人ずつ意見や感想等をお聞かせください。

(委員) 資格審査の内容の中に電柱電線の記載がありました。今後、新たな分譲地を考える

時には電線が視界に入らないような配慮がほしいです。更別村から村へ入ってくると電線、電柱が目につき日高山脈を見るときひどい状況。電柱を地中に埋められるように土地購入者に費用負担してもらうとか考えてはどうでしょうか。

キルトは村内の個人でやっている人に声掛けをしたほうが良いのではと思います。

(竹村主査) 電柱や電線については、審査項目にあるため指摘を受けたところです。多額の費用がかかるため難しい問題です。キルトについては、声かけはしましたが主催者との折り合いがつかなかったと聞いています。

(委員) 教育委員会と連携して出展してはどうかと思っています。景観ツアーは、準備に時間がかかるので、方向性を早く決める必要があると思います。

(委員) 虫等のツアーは、観光協会として来年度やるつもりでいます。この前、日高山脈の散策ツアーをやりました。主催者が違うだけで、似たような事業を繰り返しに実施することがないよう、調整したいと思います。山村留学委員会では、3つの担当に分かれて活動しています。そのようなやり方も参考になるのではないのでしょうか。予算面もあることではありますが、個別グループだと話しやすいと思います。

(委員) 植物の会自然誌研究会、自然保護協会に所属しています。夏は自然保護協会に案内してエゾサンショウウオを守る大切さを伝えてはどうかと思っています。観光協会とタイアップした観察会があると良いとも思っています。浦幌の博物館では保安防風林の調査をしたことがあるようです。そうした専門の方と協力出来たら良いと思います。西札内にタカネナデシコが咲いている崖があるですが、そこで蝶が採られています。動植物の乱獲を防ぐことも考えていけたらと思っています。

(委員) 美しい村連合の北海道ブロックの取り組みですが、冬場に北海道の強みを活かして雪を使った何か出来ればと思いました。個人的にもその方が参加しやすいです。質問ですが、古い建造物の建築基準の明確化は、どういう背景で出た話でしょうか。

(竹村主査) 恐らくは、連合の加盟村の中には吉野町みたいな古い町並みを大事にしているところがあります。連合の審査項目は、そうした町の審査も考慮して作られていると思います。その中から村長に質問があったところです。古い建造物を大切にしていけるべきで、何らかの保全する基準を設けるべきだという意見と受け止めました。開拓記念館の展示が残念だともいわれています。何が残念かは不明です。

(会長) まだまだ向上する余地があるということでしょう。

(委員) 中心市街地の共通理解の難しさは、そのとおりだと思います。どうしていくのか決めていきたいです。花づくりについては、中心市街地の花を中札内村らしいものにするとか決めていく必要があと思います。ボランティアゴミ袋ですが、子どもと一緒に使っていますが大きいです。ちょっとゴミ拾いして捨てられるよう小さいサイズのも

のを作ってほしいと思います。子供にゴミ袋もたせてやっていきたいと思います。

(会 長) ミニサイズのゴミ袋があれば良いですね。

(委 員) 主婦の方や散歩で使えるようなサイズ感が良いです。

(委 員) 景観づくりは、範囲が広いことを理解しました。これから一緒に参加し理解していけたらと思います。子供たちに対する景観の取り組みが重要だと思います。将来子どもたちが村から出ても、戻ってきたい村はどんなものか子どもに提案してはどうでしょうか。子供たちの意見を取り入れる取り組みができたらと思います。

(斎藤先生) 今後の進め方に絞って申し上げます。当初は、何年にこれをやるとか提案して進めようとしたのですが、まずは村の人たちの意識を変えたいと委員から意見があり、啓発活動に力を入れてきたところです。村長からの挨拶にもあったように、村民の意識は高まってきており、このタイミングで景観行政団体に移行することを考えても良い時期にきているのではないのでしょうか。

なかさつないルールの普及啓発を課題としてあげられておりましたが、今までの啓発活動は、なかさつないルールを伝えるためだと意識して取り組んでもらいたいと思います。イベントをやることが目的ではありません。

また、先ほど意見としてありましたが、役割分担をして取り組むことも考えて良いと思います。事務局の意向は十分わかるのですが、カチッとしたものを決めるのは難しいことです。ただ、今のメンバーであれば、ある程度できるようにも思っています。景観行政団体移行に向け、今一度、平成5年の資料を復習してはどうでしょうか。価値観は一人ひとり違うところですが、このまちを良くしたいという根っこはみんな同じです。次の委員会で過去の資料をみてはどうでしょうか。

(会 長) 農村景観ガイドプランは、データで公開されていますか。

(竹村主査) 大変古い資料であるため、紙媒体でしかありません。

(斎藤先生) 当時の村長は、農村景観ガイドプランを重要視しており、公共工事の場面ではそのとおりにやるといって進めていたことがあります。

(会 長) それでは以上で終了したいと思います。次回開催時期はいつ頃でしょうか。

(竹村主査) 1月か遅くても2月頃予定したいと思います。過去の経過を知っている斎藤先生にお越しいただき、一緒に学び直しが出来たらと思います。

(斎藤先生) 私も随分忘れていると思いますので、復習しておきます。

(会 長) 今後のまちをどうしていくか、次回まで宿題として考えてほしいと思います。それでは第1回の委員会を終了したいと思います。大変お疲れ様でした。

閉 会 20 : 20